

兵庫県保険医協会

# 但馬支部ニュース

No.168

2022年1月25日発行

発行 兵庫県保険医協会但馬支部  
連絡先 〒669-5346 豊岡市日高町伊府660  
谷垣医院 TEL/079-644-0010 FAX/079-644-0706

2022年 新年のごあいさつ



## 年頭に医療・看護の 原点に立ち返る



支部長 谷垣 正人

新年あけましておめでとうございます。

コロナに振り回された2021年がやっと終わりましたが、また新たな変異株の出現で、これからどうなるのか予断を許さない状況が続いています。

ところで、新年に相応しい話題でなくて恐縮ですが、昨年1～11月末の間に当院の患者さん67人がご逝去され、うち当院で死亡診断・検案書を書いた方が31人でした。亡くなった場所の内訳は自宅12名、老人施設（特養、グループホーム、看護多機能、有料老人ホームなど）16名、死体検案3名でした。以前に比べて老人施設での死亡が急増しており、家族の独居・高齢化や女性の就労により、家庭の介護力の低下が著しいためと思われます。

最近では老人施設の担当者から「入所者の家族に看取りの告知をしてほしい」と頼まれることが多くなりました。だんだん食事が入らなくなったり、心不全や誤嚥性肺炎を繰り返す入所者の家族に本人の状態を説明し、最終的にどうするか相談します。以前は、胃瘻などの経管栄養や病院への入院の選択が大部分でしたが、最近では「自然に逝かせたい」という家族が多くなりました。老人施設でのこのような亡くなり方が、これからの主流になるのでしょうか？

高齢者の最期に臨んでいつも思い出すのは、昔読んだ中井久夫・山口直彦著『看護のための精神医学』の巻頭の言葉です。「看護という職業は、医者よりもはるかに古く、はるかにしっかりとした基礎の上に立っている。医者が治せる患者は少ない。看護だけはできるのだ…」です。常に心していたいと思っています。

本年もどうかよろしく願い申し上げます。

## 第35回支部総会を開催

# 会員の要求に沿った支部活動を



谷垣支部長（中央）と藤井副支部長（左）、吉田支部幹事（右）が討論

但馬支部は12月4日、豊岡市内で第35回支部総会を開催、2021年度活動方針を採択し支部役員が再選された。

谷垣正人支部長はあいさつで「新型コロナウイルス感染拡大で今期も支部活動が大幅に制限されたが、今後はオミクロン株の状況にも気をつけながら活動を慎重に再開したい。医科・歯

科ともに患者減に喘ぐ医療機関が多いが、この様な局面でこそ役に立つ協会を押し出し、支部会員の要求に沿った運動を展開しよう」とした。参加者からは「今期はぜひ新しい支部役員も迎え入れたい」などの意見が出された。感染対策のため記念講演と懇親会は中止した。

### 2021年度但馬支部活動方針

- 1、新型コロナウイルス感染拡大につき、会員の意識に配慮しながら各企画（他科を知る会 / 接遇講座 / 日常診療勉強会など）の再開を模索する。
- 2、紙面づくりを工夫しながら支部ニュースの定期発行を目指す。会員登場コーナー「但馬の息吹」欄のインタビューを行う。
- 3、幹事会へのより多くの会員の参加を模索し、活発化を図る。
- 4、全病院を訪問し、医局での資料配布などの勤務医対策や、未入会病院の入会案内に努める。

### 兵庫県保険医協会但馬支部役員 敬称略（2021年12月～2023年8月）

支部長	谷垣 正人（豊岡市）	副支部長	藤井 高雄（豊岡市）
幹事	坂本 健一（朝来市）	幹事	古澤 倫代（美方郡）
	野田 昌男（豊岡市）		山田 真義（美方郡・歯科）
	長谷川正宜（豊岡市）		由良 徹也（豊岡市・歯科）
	吉田 仁志（豊岡市）		
顧問	谷 尚（養父市）	名誉支部長	新田 誠（豊岡市）



## 幹事会だより

第213回 12月23日（木）参加3人

### ◆但馬支部の会員数と組織率

12/23 現在 医科99人（83%）、歯科39人（49.4%）

### ◆情勢と医療運動対策

12月幹事会では、2022年度診療報酬改定に向けての情勢論議を行った。また、ジェネリック医薬品の品薄状況についても意見交換。「医療費抑制のため、厚労省が主導してジェネリックへの転換を無理に行ってきた結果ではないか」との発言があった。

### ◆当面の支部活動

新型コロナウイルス、特にオミクロン株の感染拡大状況をみながら、活動を再開していくことを申し合わせた。

### ◆次回幹事会

1月27日（木）19時00分～「日高地区コミュニティセンター」にて開催予定

## 健康情報テレホンサービス

通話料無料 **(0120) 979-451**



- ★24時間いつでも3分間程度の開業医の手作りの健康・医療情報を放送しています。
- ★インターネットでもご覧いただけます。過去の放送分もキーワード検索できます。URLは、<http://www.hhk.jp/> 左下のバナー「健康情報テレホンサービス」をクリック。

※11日（金・祝）は木曜日の、23日（水・祝）は火曜日のテーマを放送します

### 【2月のテーマ】

月曜日 目のヘルペス

火曜日 小児の虫歯

水曜日 肉離れ

木曜日 大動脈乖離

金土日 脂漏性皮膚炎

★患者さんに配布していただける放送テーマのミニチラシ（A6サイズ）を作成しています。  
送付ご希望の医療機関は事務局 ☎ 078-393-1840 まで。

兵庫県保険医協会・国際部オンライン研究会のご案内

# 移民・難民コミュニティでの医療

日本で「移民・難民」と聞くとあまり馴染みのないように聞こえますが、アジア各国から来た人々は工場や飲食店、コンビニなどで欠かせない労働者となっています。

また、入管施設でスリランカ人女性が必要な医療が受けられず、亡くなってしまった事件は記憶に新しいことと思います。

彼らの健康状態や医療の提供はどのようになっているのでしょうか。

移民・難民コミュニティの現状とその医療の実態についてお話いただきます。

〈講師〉 神奈川県横浜市 港町診療所・内科医

山村 淳平 先生

〈PROFILE〉

1990年代にアジア・アフリカにおいて被災民・難民救援活動に従事する。2000年代から日本の移民・難民の支援に取り組んでいる。

編著および著書『壁の涙』、『難民からまなぶ世界と日本』  
『難民への旅』、『移民がやってきた』



著書 『移民がやってきた』

日時 2月27日（日）14時～15時30分

会場 兵庫県保険医協会会議室＋ZOOM

会場定員 40人（事前申し込み順）

来場参加お申し込み【FAX078-393-1820】

切り取らずに必要事項をご記入の上ご返信ください

地区		医療機関名	
参加人数	人	代表者名	

オンライン（ZOOM利用）による参加お申し込み

右のQRコードもしくは下のアドレスから前日までにご登録をお願いします。

<https://onl.tw/Zk8Rr2g>

登録がうまくいかない場合等は、[s\\_oohashi@doc-net.or.jp](mailto:s_oohashi@doc-net.or.jp) までご連絡ください。



\* この件に関するお問い合わせは、協会事務局 Tel. 078-393-1807（担当：大橋・小西・平田）まで